

北海道・東北ブロック会議

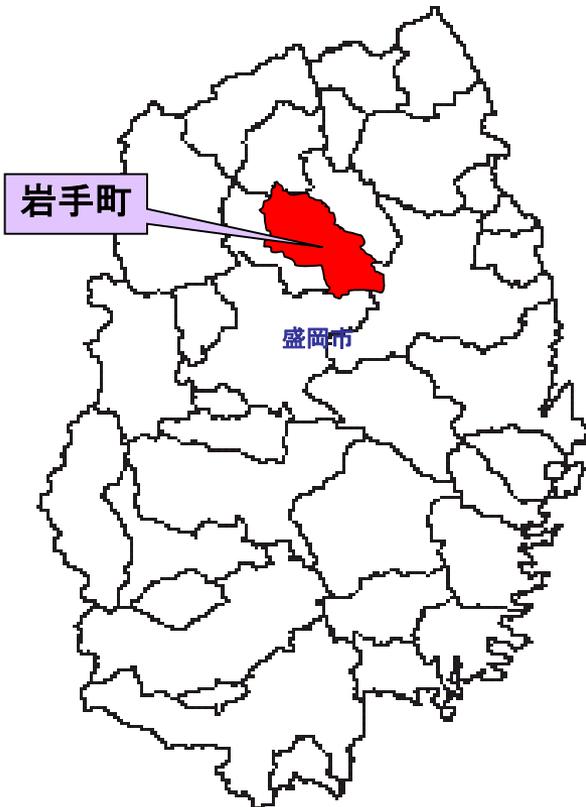
**「生涯現役の町づくり」をめざして
～検診推進体制「岩手町方式」の確立～**

令和2年2月25日（火）

岩手県岩手町健康福祉課

岩手町の概況

R2. 1. 1 現在



人 口	13,137 人
高齢化率	38.7 %
世 帯 数	5,448世帯
医療機関	地域診療センター 1 内科・外科 開業医 10 内科4・眼科1・脳外科2 婦人科1・泌尿器科1 整形外科1 歯科医院 5
保健推進員 受け持ち世帯	124人 (一人当たり約43.9世帯)
基幹産業	農業(米・野菜・畜産)

岩	手	県
岩	手	郡
岩	手	町

県名、郡名、町名が同じ
日本で唯一、岩手町だけ



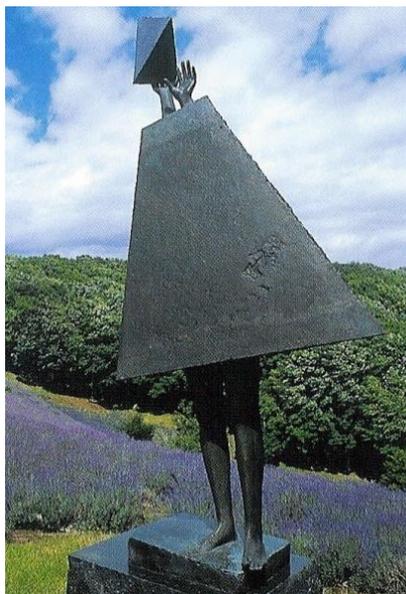
ホッケーのまち



北緯40度のまち



北上川の源泉



彫刻のまち



岩手県内トップの総合野菜産地

健康福祉課職員体制 (令和元年度～)

健康福祉課長

課長補佐

(保健師長兼健康推進係長)

課長補佐

(地域医療対策担当)

健康推進係

- ・保健師5
- ・栄養士1
- ・嘱託看護師1
- ・臨時准看護師1
- ・一般事務嘱託員1

子育て支援係

- ・行政職2
- ・栄養士1
- ・保健師
- ・嘱託助産師1

福祉支援係

- ・行政職3

【今日の内容】

- I これまでの取り組みについて
- II 岩手町の検診の特長
- III 検診の成果
- IV 今後の課題

I これまでの 取り組みについて

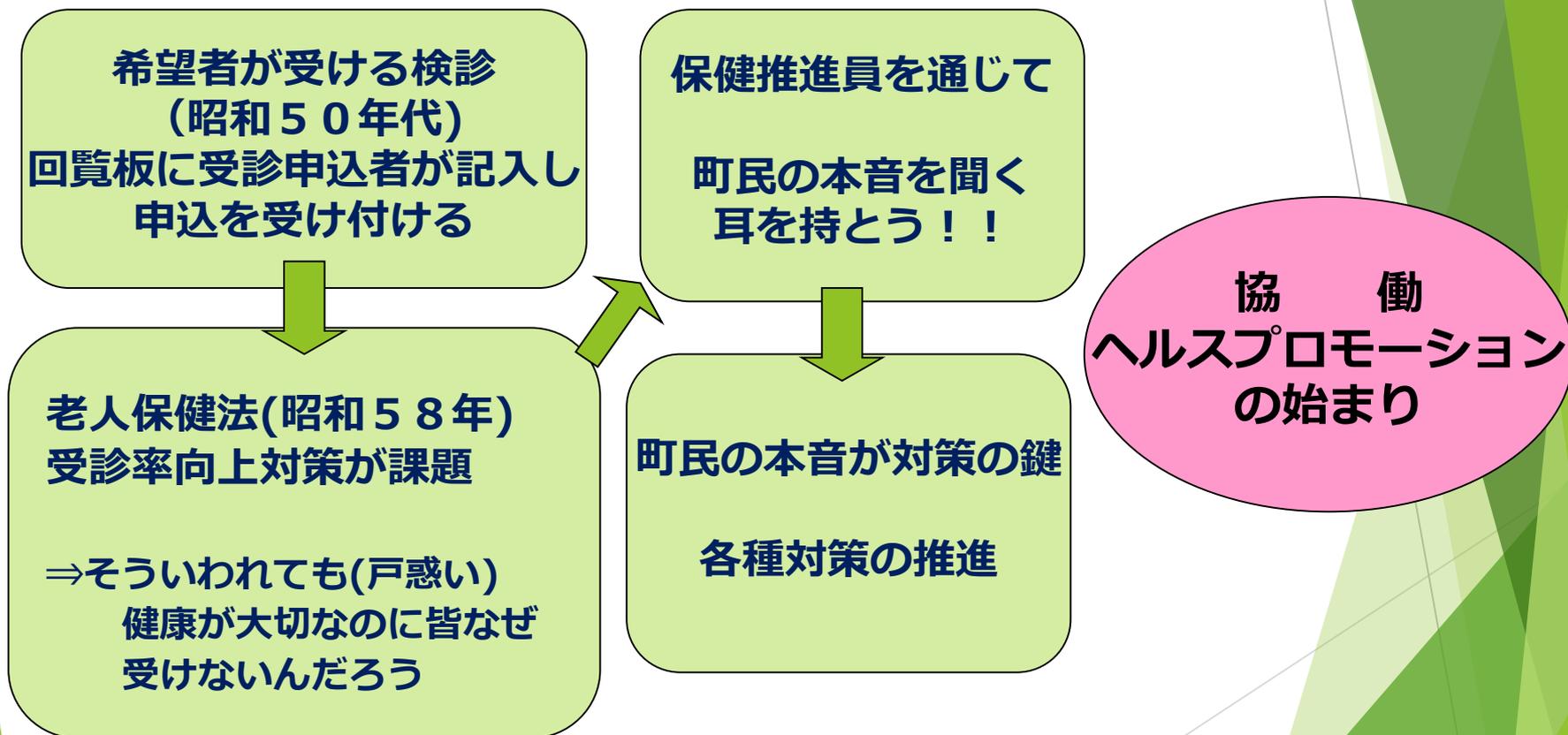
岩手町の検診受診率 実は最下位グループだった

昭和58年 老人保健法の制定

各種がん検診等の受診率向上が課題

当時、岩手町は県内最下位グループ！！！！

1 担当者(保健師)の意識の変化

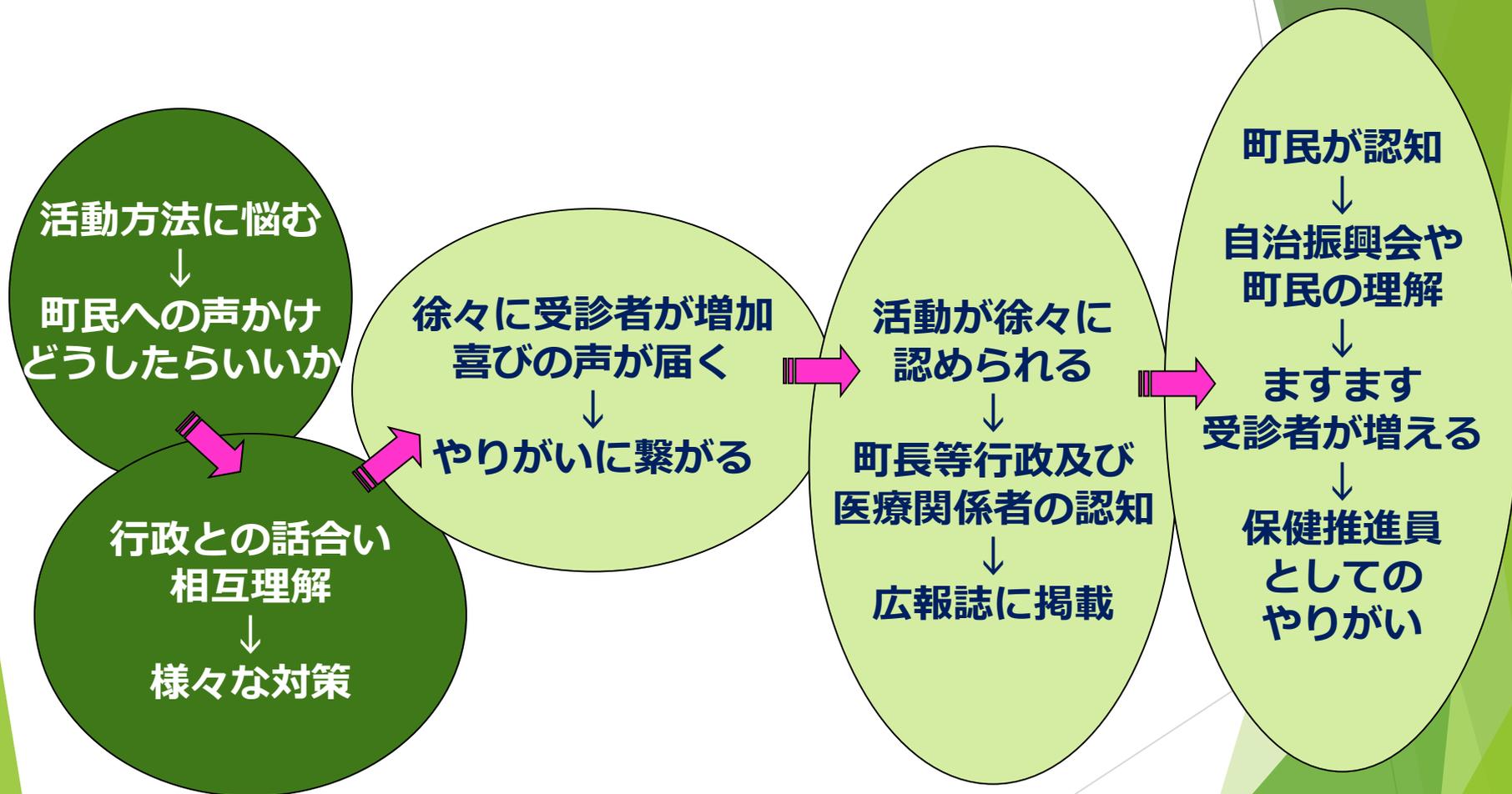


2 保健推進員活動による 積極的な草の根活動の展開

話し合いと試行錯誤から生まれた

「岩手町方式」の土台づくり

保健推進員の意識の変化①



研修はグループワーク方式で、町民の本音を聞く機会を設けた。



**見えてきた住民の本音・様々な声から
生活者としての視点が活かされた提案**

② 「今年は休む、来年受けるから」

⇒ 毎年受診者を増やそう

電算化を駆使した検診通知書の工夫
(S62年～電算化)

町の検診履歴を印字

保健推進員はそれを見て勧奨しやすくなった

【メッセージの主な種類】

- ・受診者：今年も検診を受け、健康管理に役立てましょう。
- ・20歳：20歳になった方に検診を勧めています。
- ・40歳：40歳になった方に検診を勧めています。
- ・60歳：還暦を迎えた方に検診を勧めています。
- ・未受診者：この機会に健診を受け健康管理に役立てましょう。

受診日 2019. 8. 09 受診番号 [REDACTED]

行政区名 [REDACTED]

住 所 大字 [REDACTED] 第 [REDACTED] 地割 [REDACTED] 番地 [REDACTED]

世帯主 [REDACTED] 方

氏 名 [REDACTED] 様

生年月日 [REDACTED] 歳

整理番号 [REDACTED]

2015 2017

メッセージ

今年も検診を受け、健康管理に役立てましょう。

【対象者】

- ◎40歳以上の女性で岩手町に住所を有する方
- ◎平成30年度にマンモグラフィ検査を受けていない方（2年に1回の検診）

【検診内容】

乳房X線撮影（マンモグラフィ検査）

【検診料】 無料

◎受診しない方は、下記の理由欄に○印をつけて、必ず健康福祉課か保健推進員までお届けください。

【受けない理由】

1	職場で受ける
2	病院などで受ける（治療中）
3	人間ドックを受ける
4	手術済
5	学校で受ける
6	妊娠中
7	寝たきり
8	歩行困難
9	介助がないと受けられない（高齢・認知症等）
10	入院・施設入所
11	長期不在
12	受けない（理由）

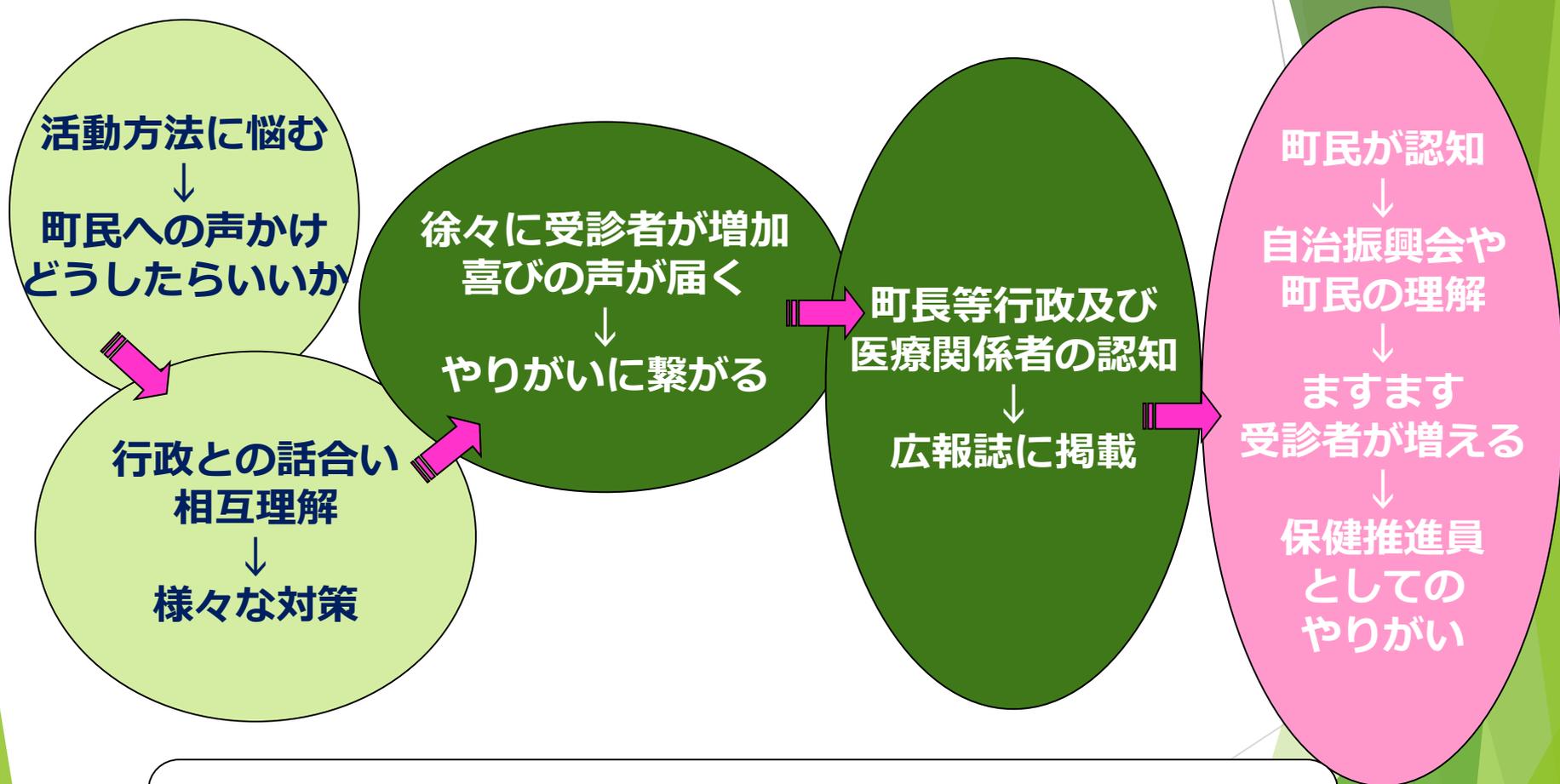
実施主体（問い合わせ先）
岩手町役場 62-2111

- ③ 「検診当日忘れていた」という人に
⇒ 検診前夜対象地区を広報車で呼びかけ
(S 6 3 年～ 1 1 年間実施)



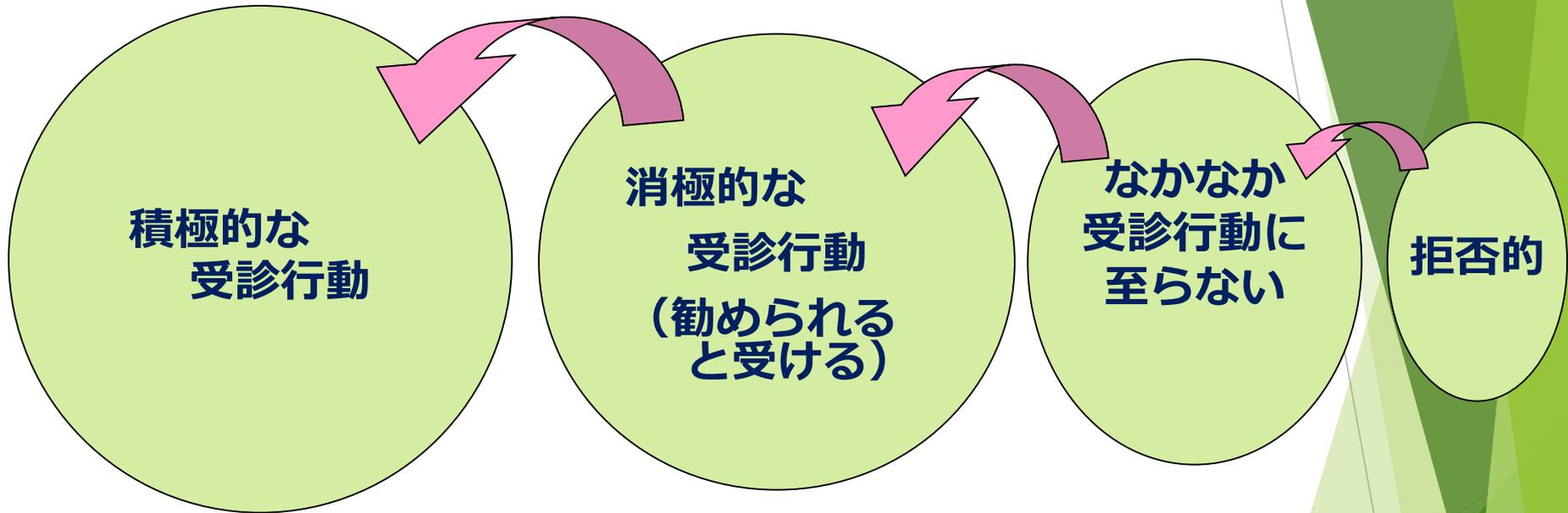
- ④ 「お金がかかる、
家族全員が受けると馬鹿にならない」
検診料金個人負担の無料化の実現
(平成元年～)
- ⑤ 「仕事を休むと作業員全員休み、
私は重機のインストラクター」
事業所まわりで理解を求め、受診しやすい
環境づくり
- ⑥ 「保健推進員だけが地域で頑張っても・・・
健診や健康づくりは地域ぐるみで」
モデル地区による草の根保健活動の実施

保健推進員の意識の変化②



保健推進員の任期を2年から3年に延長
不安の1年 わかった2年 納得の3年

3 町民の受診行動の変化



**保健推進員は町民と行政とのパイプ役！
町民の声を聞き、行政に伝え、共に考える(参画)**

4 ある医師のつぶやきから

「病気が進行してから見つかったても
検診の意味がない」



行政と医療機関の連携会議

「岩手町検診推進委員会」の設立

(昭和62年4月)

検診推進委員会

年2回開催（検診の評価と次年度方針決定）

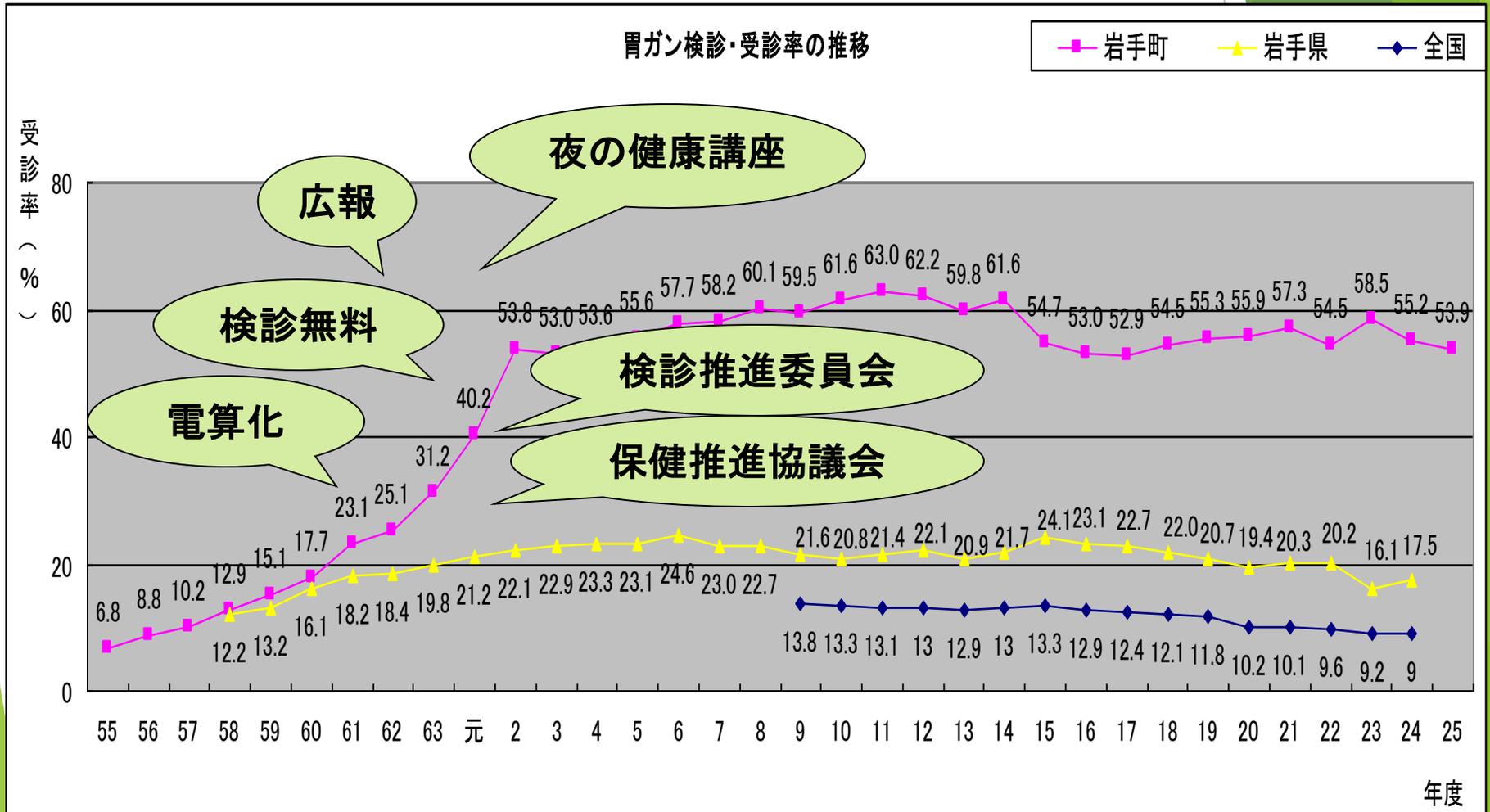


岩手町検診推進委員会の 果たした役割

- ① 受診率向上対策の検討
「夜の健康講座」
- ② 精密検査実施体制の構築
- ③ 検診結果の評価と次年度の検討
(年2回 8月と2月実施)



さまざまな活動と検診受診率の推移



Ⅱ 岩手町の検診の特長

① 検診推進システム

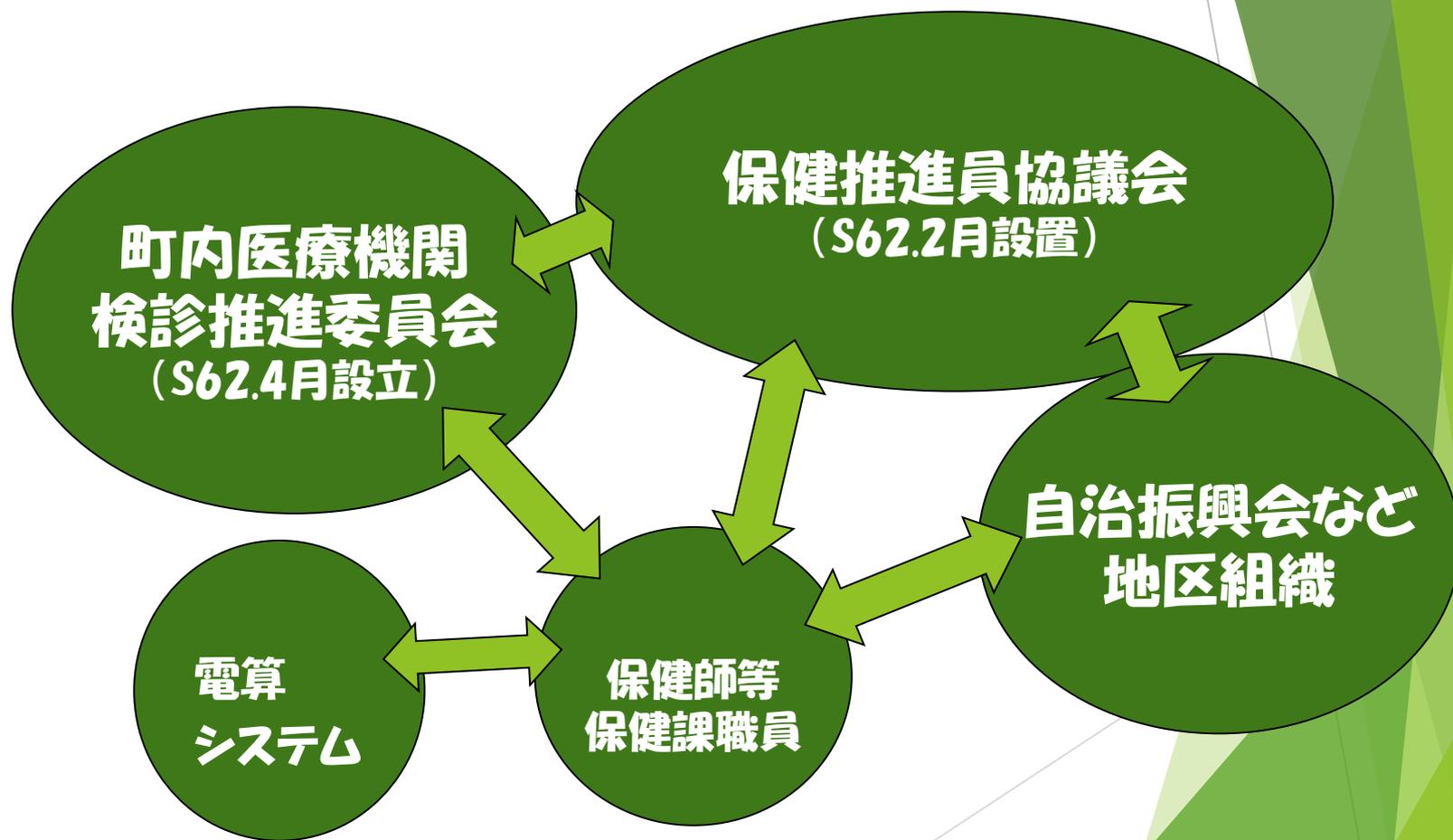
「岩手町方式」の確立

② 検診料金自己負担の無料化

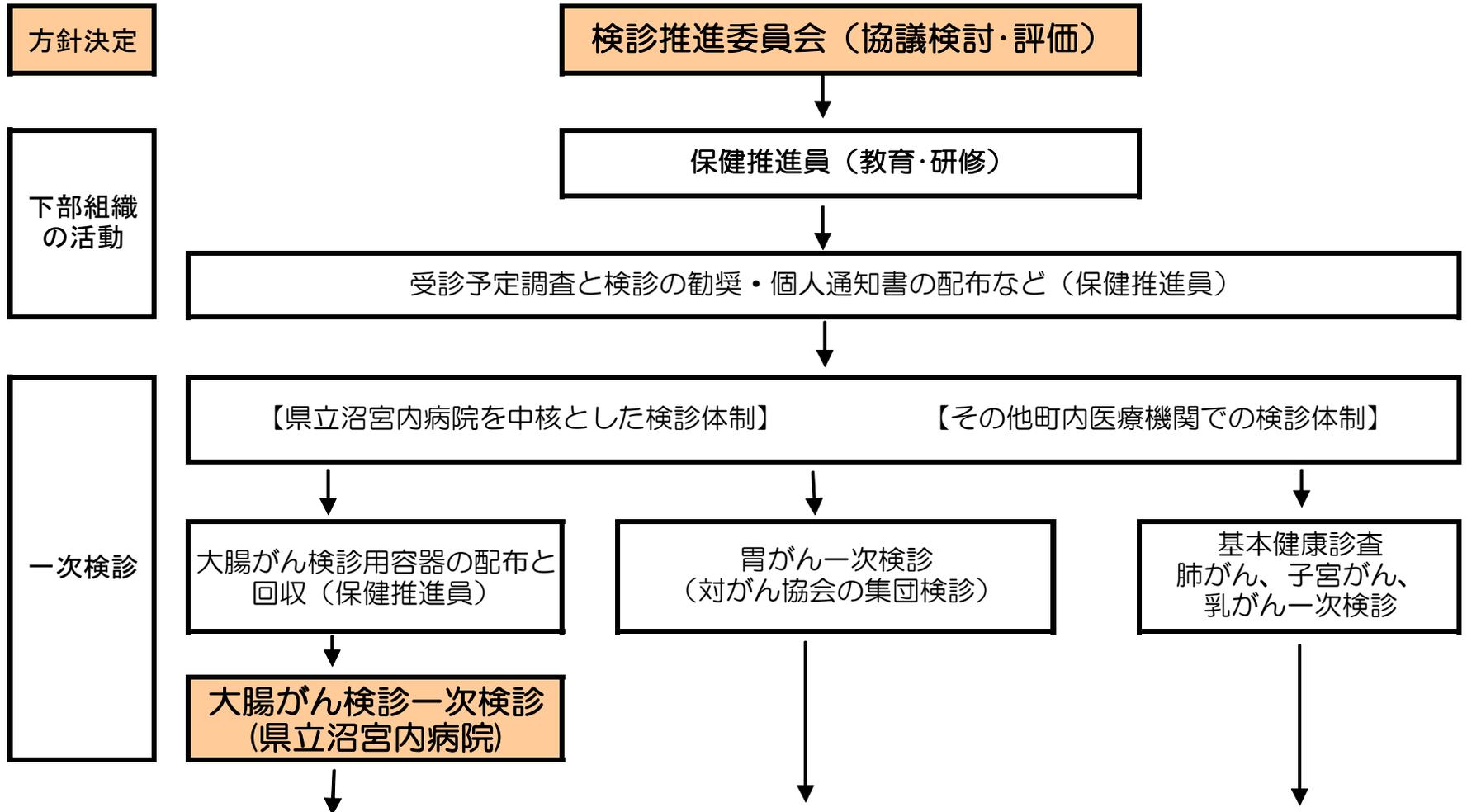
③ 高い検診受診率

① 検診推進システム 「岩手町方式」の確立

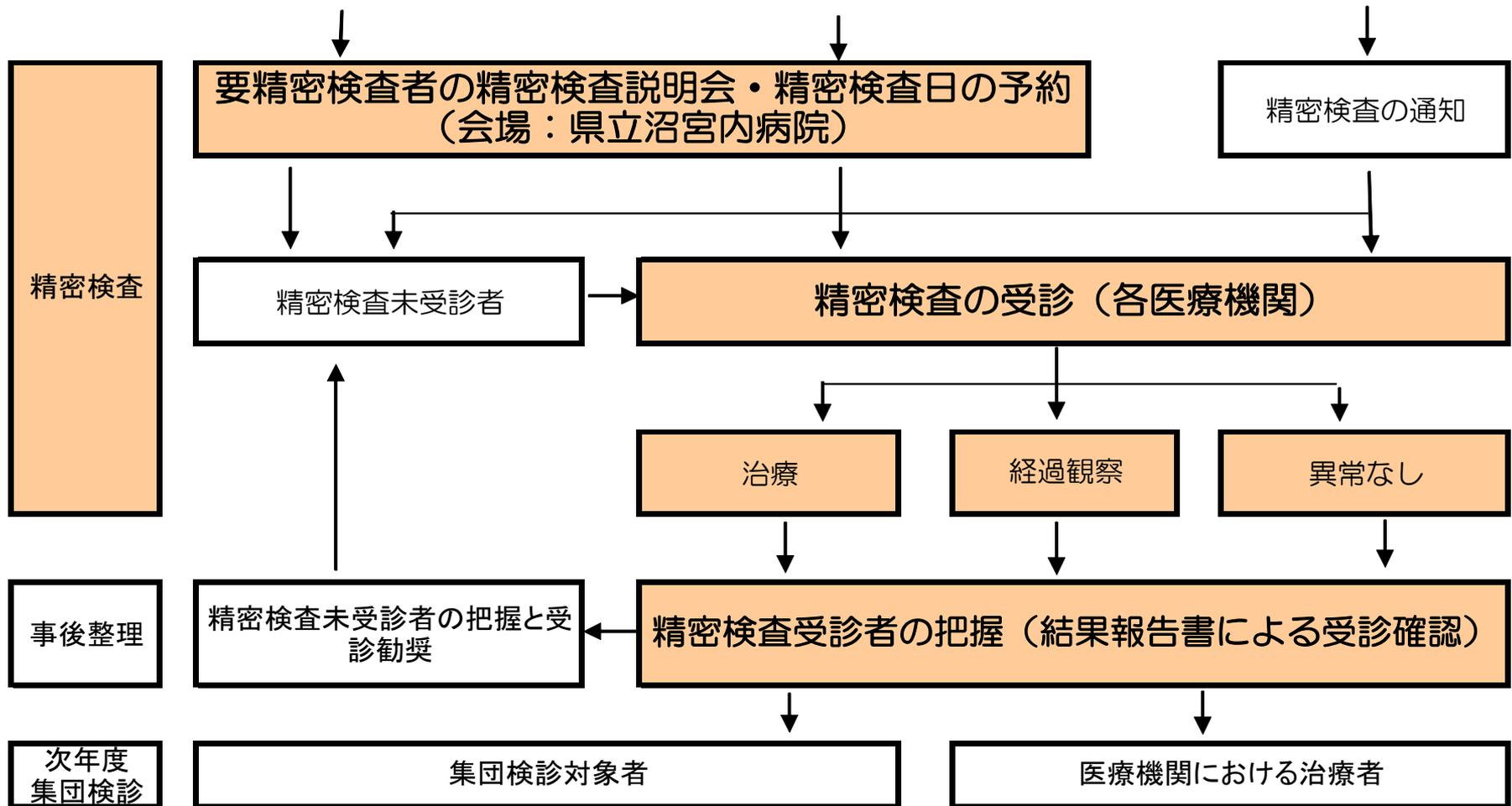
関係機関と共に構築した 検診推進システム「岩手町方式」



岩手町における集団検診のシステム



岩手町における集団検診のシステム



岩手町の検診体制について

- ▶ **地域・行政・保健推進員・医療機関等が一体となり進めている「岩手町方式」**
- ▶ **関係機関の連携により高い受診率を保ち、病気の早期発見・早期治療に大きくつながっている。**

② 検診料金自己負担の無料化

令和元年度検診委託料 (税込)

検診名	対象年齢など	検診委託料
特定健診	40歳～74歳	9,018円
肝炎ウイルス検査	40歳以上で肝炎ウイルス検査を受けたことのない人	セット2,700円 単 独3,477円
胃検診	40歳以上	5,400円
肺検診	40歳以上	1,728円
大腸検診	40歳以上	1,742円
前立腺がん検診	40歳以上男性	セット1,620円 単 独2,397円
子宮がん検診	20歳以上女性	6,696円
乳房検診	40～64歳女性	4,536円
	65歳以上女性	4,212円
生活習慣病予防健診	35歳～39歳	9,018円

令和元年度 各種検診委託料等 約7,000万円

40歳の人を対象となる検診を受けた場合の料金

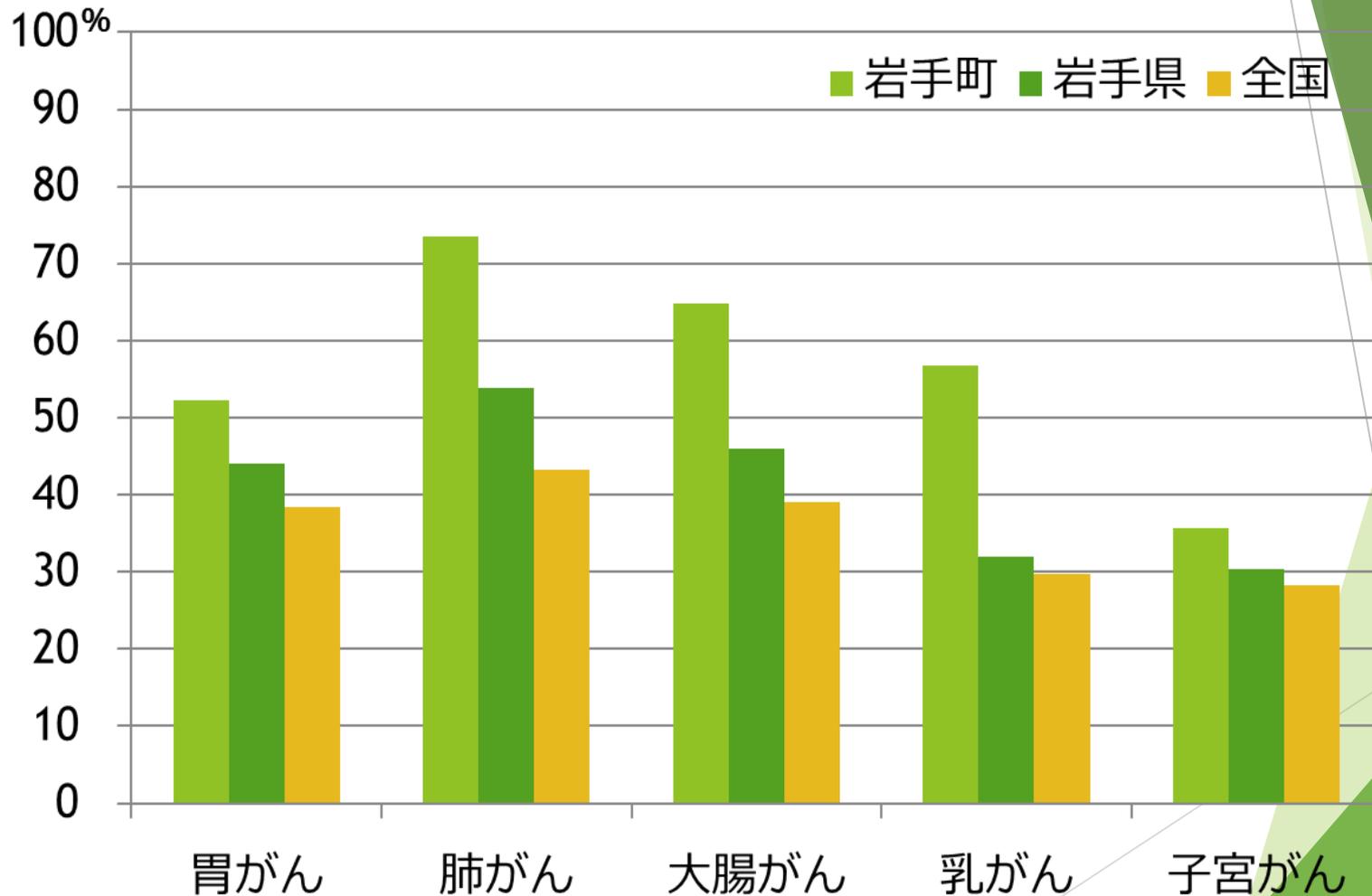
 **男性**
22,208円

自己負担
無料

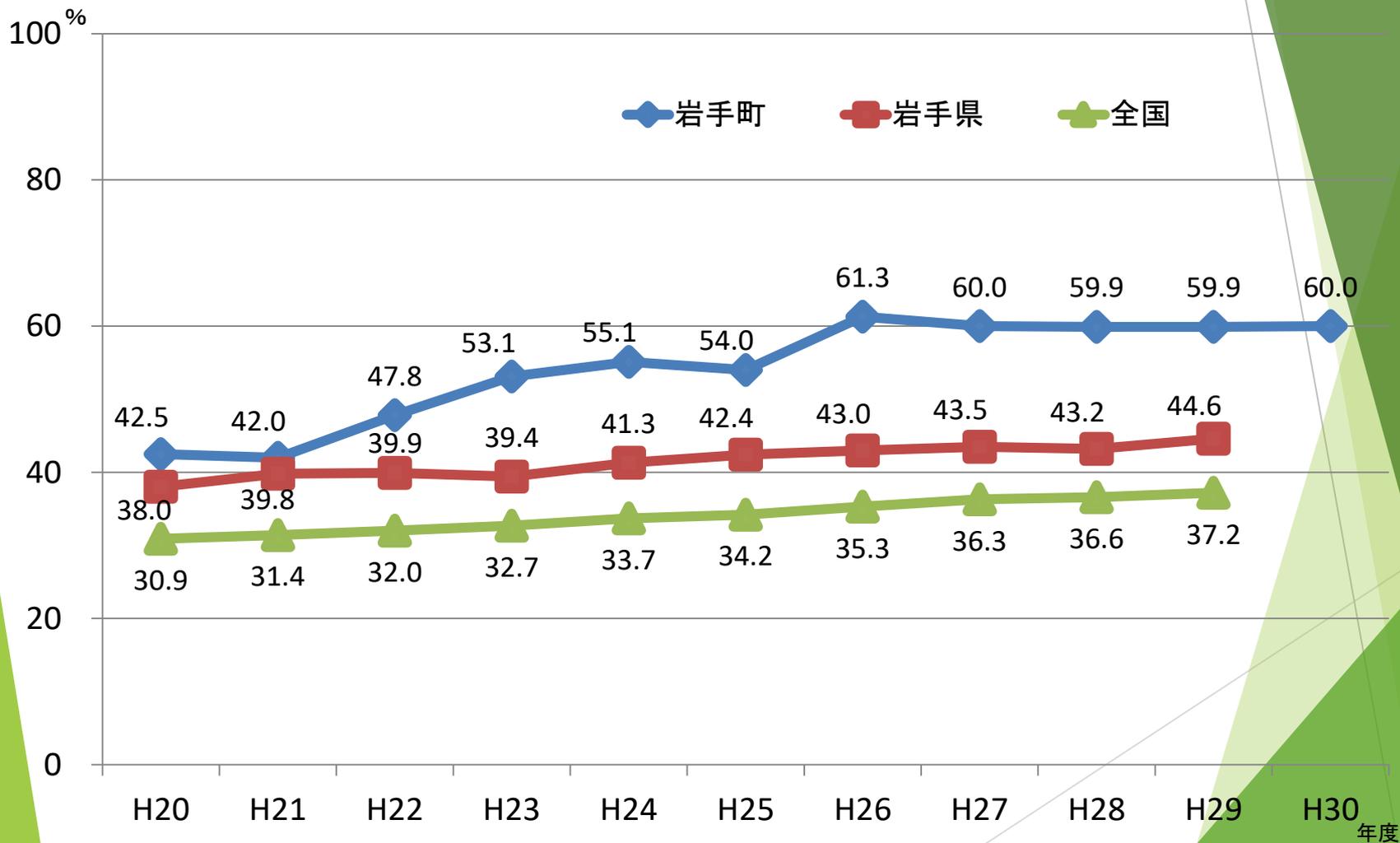
 **女性**
31,820円

③ 高い検診受診率

平成28年度各種がん検診受診率



特定健診受診率の推移



Ⅲ 検診の成果

1 病気の早期発見

年度	人数	大腸がん	胃がん	乳・子宮がん	前立腺がん	その他
21	18	2	4	2	7	3
22	37	3	6	2	21	5
23	18	2	1	2	9	4
24	37	8	6	4	15	4
25	31	11	3	3	14	0
26	24	3	3	6	6	6
27	15	2	0	3	8	2
28	17	0	3	7	5	2
29	13	0	2	2	7	2
30	21	5	2	2	8	4
合計	231	36	30	33	100	32

2 行政・保健推進員・町民等の意識の変化

- ▶ 担当者の意識が変わった
- ▶ 参加者の意識が高まった
- ▶ 地域に定着し、自分たちの力で運営
- ▶ 健康づくりが地域づくりへと発展

第58回 保健文化賞



IV 課 題

- 1 若年者の受診率が低い
- 2 検診受診者の固定化が見られる。
- 3 検診によるがん発見者のうち、約2割が初回受診者である。
- 4 検診要精密検査受診率が60～90%の状況にある。



**道の駅「石神の丘」
令和2年7月 18周年**



ブルーベリーワイン
「ルルトリリ」



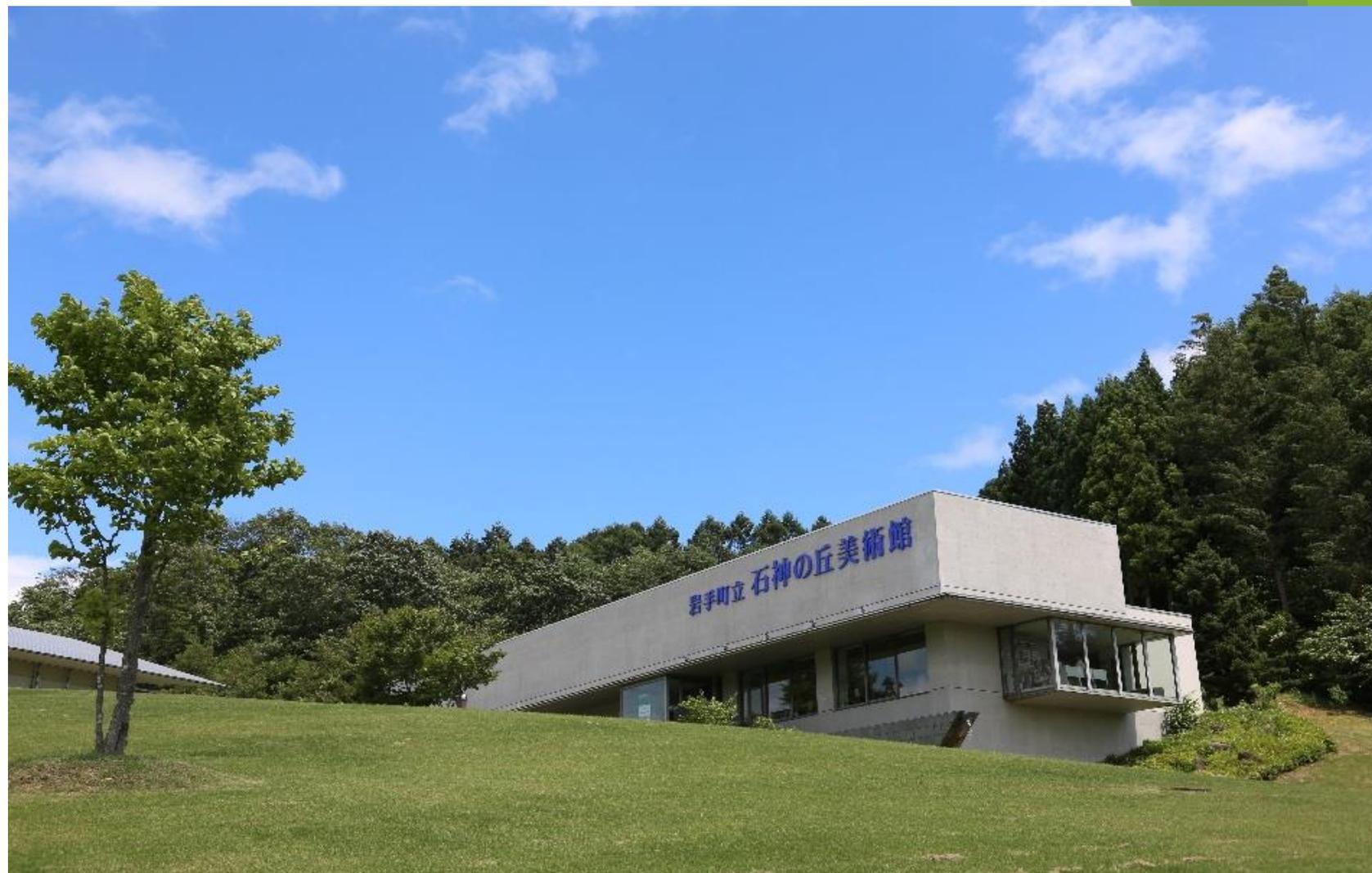
キャベツ焼酎
「キャベ酎」



B級ご当地グルメ
「いわてまち焼きうどん」



キャベツ専用ドレッシング

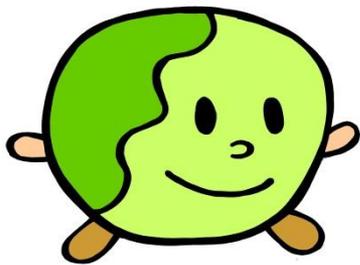


令和2年度 石神の丘美術館リニューアルオープン



ブルベリーナ

ご清聴ありがとうございました。



たまなぼうや